



脱炭素先行地域を 12 地区へ拡大！

生駒市は、令和5年4月に環境省から「脱炭素先行地域[※]」に選定され、令和7年度までは、ひかりが丘・萩の台住宅地自治会の2地区（1,345世帯）を先行地域として設定していましたが、今年度、新たに10地区（4,039世帯）を追加し、計12地区（5,384世帯）に拡大しました。既存住宅へ太陽光発電と蓄電池（以下「太陽光発電等」という。）を、設置費用の2/3の補助金を活用しながら設備導入を促し、先行地域の脱炭素化を強力に推進していくものです。

※脱炭素先行地域とは

環境省が公募する地域で、2030年度までに民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴う二酸化炭素排出の実質ゼロなどの要件を地域特性に応じて実現する地域のことです。

■ 脱炭素先行地域モデル自治会（12地区）

<令和7年度～2地区 1,345世帯>

- ・ひかりが丘自治会
- ・萩の台住宅地自治会

<令和8年度～10地区 4,039世帯>

- ・鹿ノ台北1丁目自治会
- ・上町台自治会
- ・南田原町自治会
- ・生駒台自治会
- ・月見ヶ丘自治会
- ・緑ヶ丘自治会
- ・東生駒南自治会
- ・さつき台南自治会
- ・翠光台自治会
- ・青山台自治会

■ 生駒市脱炭素先行地域事業 概要

生駒市は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、他地域のモデルとなる先進的な取組を行う地域として、令和5年4月に国が進める「脱炭素先行地域」に選定されました。ひかりが丘と萩の台住宅地の2つの自治会を先行地域に設定し、2030年度における民生部門の電力消費に伴う二酸化炭素排出実質ゼロ達成を目指し、令和9年度までの5か年の事業計画に取り組んでいます。

◇令和7年度の実績

令和7年4月より、登録事業者の協力を得て、先行地域であるひかりが丘自治会・萩の台住宅地自治会の各家庭に太陽光発電等の導入を進めており、1年間で45件導入しました。

◇新たに追加した先行地域住民向け合同説明会

モデル自治会在住者に向けて、本事業の概要説明や登録事業者と個別相談ができる説明会を行います。

- ・日程：6月6日（土） 時間：9：30から 場所：北コミュニティセンターISTA はばたき
- ・日程：6月7日（日） 時間：10：00から、14：00から 場所：生駒市役所

この件に関する報道関係からのお問合せ

生駒市 脱炭素まちづくり推進課（課長 木口） ☎0743-74-1111(内線 2850)